

使用者団体指導者・修了者招へいセミナー [EREF1]

バングラデシュの労働状況： 新型コロナウイルス感染症が 雇用に及ぼす影響



Asif Ayub

バングラデシュ経営者連盟

共同事務局長



バングラデシュについて

・バングラデシュー「驚異の発展国」

- ・現在の経済規模は世界第41位、2035年までに世界第25位に。
- ・バングラデシュはBRICS諸国に次ぐ「NEXT11」入り。
- ・世界第6位の労働力輸出国
- ・「調達キャラバン」にとって次の優先目的地であることは明白

BEFについて

- 国内・地域・国際的に認知された、バングラデシュの民間部門経営者の頂上団体
- 1998年、工業、貿易業、銀行業、保険業など全部門を代表する全国団体として再設立（登記は1951年）
- BEFは基本的に政策策定プロセスで活動し、加盟団体の利益を守り、加盟企業にサービスを提供する。
- バングラデシュの利益を拡大するさまざまな活動の実施にも尽力している。
- BEFは当初より調和的な労使関係に取り組んでいる。



国際情勢はこの数年間で経済的にも政治的にも劇的な変化を遂げた。新型コロナウイルス感染症のパンデミックやロシア・ウクライナ戦争が我々の生活に甚大な影響を及ぼした。さらに、物価高騰によりビジネスや日常生活に大きな不安が生じている。

バングラデシュとその労働市場

バングラデシュの労働市場：バングラデシュ経済は余剰労働力を有しているとみなされているため、労働市場を発展させることが非常に重要である。

表1：ジェンダー別労働力と雇用状況（15歳以上）

（100万人）

| SI 番号 | 調査年 | 労働力 | | | 就業者数 | | | 失業者数 | | |
|----------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|
| | | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 |
| 1 | LFS 1995–96 | 36.1 | 30.7 | 5.4 | 34.8 | 29.8 | 5.0 | 1.3 | 0.9 | 0.4 |
| 2 | LFS 2005–06 | 49.5 | 37.3 | 12.2 | 47.4 | 36.1 | 11.3 | 2.1 | 1.2 | 0.9 |
| 3 | LFS 2010 | 56.7 | 39.5 | 17.2 | 54.1 | 37.9 | 16.2 | 2.6 | 1.6 | 1.0 |
| 4 | LFS 2016–17 | 63.5 | 43.5 | 20.0 | 60.8 | 42.2 | 18.6 | 2.7 | 1.3 | 1.4 |

出典：バングラデシュ統計局（BBS）による2015–2016年四半期労働力調査（QLFS）、各年の労働力調査（LFS）



表2：ジェンダー別労働参加率（15歳以上）

（%）

| SI 番号 | 調査年 | 全国 | | | 都市部 | | | 農村部 | | |
|----------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 |
| 1 | LFS 1995-96 | 52.0 | 87.0 | 15.8 | 51.7 | 82.0 | 20.0 | 52.1 | 88.6 | 14.5 |
| 2 | LFS 2005-06 | 58.5 | 86.8 | 29.2 | 55.7 | 83.2 | 27.4 | 59.4 | 88.0 | 29.8 |
| 3 | LFS 2010 | 59.3 | 82.5 | 36.0 | 57.3 | 80.2 | 34.5 | 60.0 | 83.3 | 36.4 |
| 4 | LFS 2016-17 | 58.2 | 80.5 | 36.3 | 55.7 | 81.0 | 31.0 | 59.3 | 80.3 | 38.6 |

出典：バングラデシュ統計局（BBS）による2015-2016年四半期労働力調査（QLFS）、各年の労働力調査（LFS）

表3：大部門別雇用状況

（100万人）

| SI番号 | 調査年 | 農業 | 工業 | サービス業 | 合計 |
|------|-------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1 | LFS 1995-96 | 17.0 (48.85) | 4.6 (13.22) | 13.2 (37.93) | 34.8 (100.00) |
| 2 | LFS 2005-06 | 22.8 (48.10) | 6.9 (14.56) | 17.7 (37.34) | 47.4 (100.00) |
| 3 | LFS 2010 | 25.7 (47.50) | 9.4 (17.38) | 19.0 (35.12) | 54.1 (100.00) |
| 4 | LFS 2016-17 | 24.7 (40.63) | 12.4 (20.39) | 23.7 (38.98) | 60.8 (100.00) |

注：カッコ内の数字は構成比

出典：バングラデシュ統計局（BBS）による2015-2016年四半期労働力調査（QLFS）、各年の労働力調査（LFS）

表4：ジェンダー別若年労働力（15～29歳）

（100万人）

| SI番号 | 調査年 | 全国 | | | 都市部 | | | 農村部 | | |
|------|--------------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|
| | | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 |
| 1 | LFS 2002-03 | 19.0 | 13.5 | 5.5 | 4.4 | 3.1 | 1.3 | 14.6 | 10.4 | 4.2 |
| 2 | LFS 2010 | 20.9 | 13.1 | 7.8 | 5.1 | 3.1 | 2.0 | 15.8 | 10.0 | 5.8 |
| 3 | QLFS 2015-16 | 20.8 | 13.7 | 7.1 | 6.1 | 4.0 | 2.1 | 14.7 | 9.7 | 5.0 |
| 4 | LFS 2016-17 | 20.1 | 13.1 | 7.0 | 6.1 | 3.9 | 2.2 | 14.0 | 9.2 | 4.8 |

出典：バングラデシュ統計局（BBS）による2015-2016年四半期労働力調査（QLFS）、各年の労働力調査（LFS）



新型コロナウイルス感染症が雇用に及ぼす影響

- なぜ重要なのか。
- 過去10年、雇用の創出が問題となっていた。
- 新型コロナウイルス感染症がバングラデシュの労働市場に追い打ちをかけている。
- 海外市場における雇用ショック
- 海外への出稼ぎ労働者の帰国
- 都市部から農村部への逆移動
- 失業
- 新型コロナウイルス感染症に起因する貧困の発生

表一 貧困者数

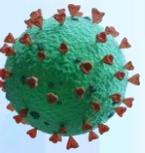
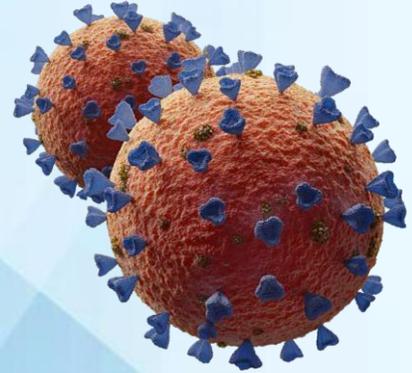
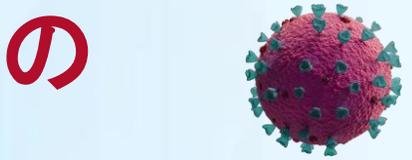
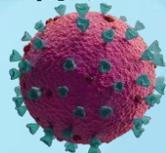
| | 貧困者総数 (100万人) | 新規貧困者数 (100万人) | 貧困率 (%) |
|-------------------------|---------------|----------------|---------|
| 南アジア経済モデルネットワーク (SANEM) | 70.0 | 36.0 | 40.90% |
| 政策対話センター (CPD) | 68.4-75.7 | 34.4-41.7 | 40%-44% |
| 政策研究所 (PRI) | 58.1 | 24.1 | 34.10% |



新型コロナウイルス感染症の影響とその他の不確実性

- 経済・社会福祉に影響
- サプライ・チェーンの混乱
- 雇用の喪失・時間の損失（インフォーマル・セクターでは108万人分の雇用喪失）
- 都市部から農村部への逆移動
- 帰国した出稼ぎ労働者の就職が難航
- 貧困の発生（34.1～44%。危機前の推計は20.5%）
- バングラデシュの対ロシア・ウクライナ輸出収益は総輸出収益の2%
- 後発開発途上国（LDC）からの卒業プロセスの遅れ
- 2030年までの持続可能な開発目標（SDGs）の目標・ターゲット達成の危機
- 気候変動により国内の金融・労働市場が不安定化するおそれ

出典：南アジア経済モデルネットワーク（SANEM）、政策対話センター（CPD）、ビジネス・スタンダード紙（TBS）



コロナ後の労働市場の回復

経済成長や労働市場改善の減速を最小限に抑えるため、政府がいくつかの回復策を実施した

- ✓ 景気刺激策：221億米ドル（GDPの6.23%）に達する28件の短期・中期・長期的景気刺激策を実施した
- ✓ 輸出開発基金の割り当てを20億米ドルから110億米ドルに増額した
- ✓ 女性や脆弱な集団向けの特別プログラム：女性や脆弱な集団のニーズに特化した社会的セーフティー・ネット・プログラムを拡充した
- ✓ 新型コロナウイルス感染症情報とワクチン接種：成人の約98%が接種済み。5歳までの幼児へのワクチン接種を実施中

ロシア・ウクライナ戦争が労働市場とバングラデシュに及ぼす影響

- ✓ 需要拡大に対する供給不足に伴うインフレ圧力
- ✓ ロシアとの経済関係の停滞
- ✓ ガス、肥料、その他の必需品の価格上昇
- ✓ バングラデシュの対ロシア貿易に影響



バングラデシュの労使関係：これまでの改善点

- ✓ 生産性を向上させるには労使双方にとって調和的な関係が必要である。
- ✓ 1980年代、バングラデシュは既製服（RMG）ブームに沸いたが、産業の発展に必要なインフラが同じ規模で進展しなかった。
- ✓ 2013年4月24日のラナ・プラザ崩落事故後、状況が大きく変化した。
- ✓ 政府、使用者、労働者、バイヤー、小売業者、開発パートナーが、状況を改善し、労働基準、労働者の権利、職業安全衛生（OSH）、建造物・電気保安などの総合的な側面に取り組むという共通理解に立った。
- ✓ 労働法が何度も改正されて安全問題が強化され、労働者の給料が上がった。労使ともに適切な研修施設が利用可能になった。
- ✓ 現在は状況が改善され、労使ともに以前より知識・経験が深まっている。
- ✓ 二者安全委員会、参加委員会、福祉担当官の任命、紛争解決メカニズム、労働裁判所の拡充、不当労働行為に対する標準作業手順書（SOP）、労働組合の登記に対するSOP、出産給付金、休暇の買い取り、障害給付金などを導入した。



日本企業への助言

- 日本の投資家からの技術移転
- より多くの能力開発イニシアチブ、特に大規模に導入すべき日本式管理・生産システムを実施する
- バングラデシュへの投資機会を活用する
- 迅速かつ大胆な決断が必要
- 技術・ノウハウの移転を通じて市場機会を探求する
- 特に日本市場に必要な、カスタマイズされた能力開発イニシアチブ



ありがとうございました

Asif Ayub

বাংলাদেশผู้ประกอบการ連盟 (BEF)

共同事務局長



aayub.bd@gmail.com



+880 1971 593 417



www.bef.org.bd

